大沢住区のまち並み資源図

大沢住区は、野川や国分寺崖線、国立天文台や国際基督教大学など、市内で最も多くの自然が残されている住区です。

国際基督教大学（百）
正門から奥へと約 600m 続く桜並木は、桜の季節には、一般にも開放されます。学内には、実業家山田敬亮の別荘として昭和 14(1939) 年に竣工した泰山荘など、文化的に価値の高い建造物があります。

泰山荘（百）
歴史的建造物の古材を集めて建てられた茶室（高風居）・書院・待合・蔵・車庫・表門からなり、国分寺崖線の雑木林の中にひっそりと佇んでいます。

野川公園（百）
野川公園の前身は、国際基督教大学のゴルフ場です。調布、小金井、三鷹の三市にまたがり、三鷹市内では野川に沿った桜並木や豊かな湧水が見られます。

わさび田（百）
都内でも珍しいわさび田の景観です。

果実の香り大沢農地（百）
野川の水に恵まれた農地です。

近藤勇墓
近藤勇は、龍源寺本堂裏の墓地に葬られたと言われています。

大沢の里周辺（百）
大沢の里には、野川や国分寺崖線の緑を核として、水車経営農家・新車、湿生花園があります。湿生花園には、ホタルの為の水路や水田があり、春にはレンゲが咲き、夏にはホタルが鑑賞できます。国分寺崖線中腹にはコナラやクヌギ、ヤマザクラなど、崖下にケヤキやシラカシなどの樹林が見られます。

旧箕輪家住宅主屋
明治 35(1902) 年に建てられた典型的な農家の佇まいです。

武蔵野の森公園（百）
武蔵野の森公園は、調布市にまたがる公園です。小高い丘などからは、隣接する調布飛行場を眺めることもできます。戦時下に戦闘機を守るために用いられた掩体壕も残されています。

出山横穴墓群８号墓
丘陵の斜面を横に掘ってその中に遺体を埋葬した古代の墓（7 世紀頃）の一つです。

国分寺崖線からの眺望（百）
第七中学校の階段上などの国分寺崖線の眺望点からは、野川や崖線下のまち並み、遠くは富士山を眺めることができます。

大沢グラウンド通り（百）
両側の桜並木は、春には桜のトンネルになり、通りを覆います。大沢グラウンド、武蔵野の森公園及び調布飛行場に接し、空の広い開放的な通りです。

ルーテル学院大学
礼拝堂は、村野藤吾が昭和 44(1969) 年に設計した近代建築です。

大沢三丁目環境緑地整備地区地区計画（百）
計画的に開発された住宅地で、敷地の境界部分が緑化され、緑視率の高い住宅地の景観を形成しています。地区計画が定められ、これらの環境を将来も担保しています。

株式会社 SUBARU（百）
天文台通りに面する大規模な研究施設です。

大沢青少年広場（百）
市民の憩いの場として親しまれている雑木林を活かした公園です。

人見街道（百）
沿道のけやき並木は、屋敷林の一部が残っているもので、昔の面影を現代に伝える景観です。大沢八幡神社、二塚神社及び龍源寺など、沿道には社寺も多く見られ、昔の街道の面影を感じる景観となっています。

東八道路（百）
東八道路の沿道は、広い歩道と街路樹が整備され、緑豊かな街路景観を形成しています。特に野川公園の間を抜ける部分は、両側を公園に挟まれ、緑に囲まれた空間となっています。

鷹場標石
江戸時代、三鷹の東側は幕府の鷹場、西側は尾張徳川家の鷹場でした。鷹場標石は現在、市内に３基残っています。

天文台旧１号官舎（三鷹市星と森と絵本の家）（百）
大正４（1915）年に天文台の官舎として建てられ、当時の様子を伝える貴重な建築物です。

大沢雑木林公園（百）
市民の憩いの場として親しまれている雑木林を活かした公園です。

国立天文台（百）
国立天文台は、国分寺崖線上の大規模な緑地の景観であるとともに、「大赤道儀室」、「第一赤道儀室」及び「太陽分光写真儀室」や旧官舎を利用した「星と森と絵本の家」など、歴史・文化的に価値のある建造物があります。同敷地の北側ゾーンでは、国立天文台と連携したまちづくりとしての土地利用転換を検討しています。

天文台通り（百）
国立天文台や国際基督教大学と接して南北に通るサブ都市軸です。国立天文台と接する付近は、谷線を通っており、西側の天文台の緑地と一体となり、緑豊かな街路景観を形成しています。

野川（百）
野川の源流は、国分寺市の日立中央研究所内の湧水にはじまり、国分寺崖線からの湧水を集めながら多摩川に合流します。河畔には遊歩道が設けられ、橋からは川沿いのまち並みや崖線の緑を眺めることができます。

羽沢小学校周辺（百）
国分寺崖線を感じる坂のある景観です。

N

0m　500m

自然

住区のほぼ全域が大沢の里・国分寺崖線重点地区に入っている大沢住区では、大規模な緑地の間に位置する住宅地や農地においても、緑豊かな環境を形成し、住区全体として、自然を感じる景観をつくり出していくことが求められます。

- 河川
- 斜面地
- 保存樹林・樹林
- 緑被 樹林地
- 湧水
- 緑被 草地
- 眺望点
- 緑と水の回遊ルート

農

湧水、野川の清流により育まれたわさび田や水田、水車小屋及び茅葺き屋根の古民家の景観が見られることは、他の住区にはない特徴です。

また、多くの農地は、国分寺崖線の斜面緑地や国立天文台、国際基督教大学などの大規模な緑地の間に広がっており、自然の景観をつなげる役割を担っています。大沢市民農園など、市民が関わる農のある風景を見ることができます。

- 農地
- 市民農園

歴史・文化

人見街道沿いには、農家の屋敷、土蔵及び屋敷林などの名残を感じる景観が残っています。また、国立天文台、国際基督教大学及びルーテル学院大学などには、歴史・文化的価値のある建造物が残っています。これらを保全・活用した景観づくりが求められます。

文化財
- 国指定文化財
- 都指定文化財
- 市指定文化財
- 国登録文化財
- 市登録文化財

- 文化・教育施設
- 寺社
- 街道

にぎわい

東八道路、天文台通りなどの幹線が通ります。街路樹の緑豊かな東八道路、国立天文台に接した谷線を通る天文台通り、桜並木の美しい大沢グラウンド通りなど、それぞれの特徴的な景観を活かした骨格にふさわしいまち並みの形成が求められます。

- 商店街
- 事業中の都市計画道路
- 都市軸
  - 中央都市軸
  - 東西都市軸
  - サブ都市軸

コミュニティ

大規模な緑地のまわりに馬蹄形に広がる住宅地の多くは、斜面に立地しており、地形を生かした緑豊かな住宅地のまち並みの形成が求められます。また、崖線下の住宅地では、崖線からの眺望にも考慮し、屋根の色彩などの配慮が求められます。

- 小・中学校・高等学校
- 公園・緑地・広場
- 地区計画
- 緑道など特徴的な道

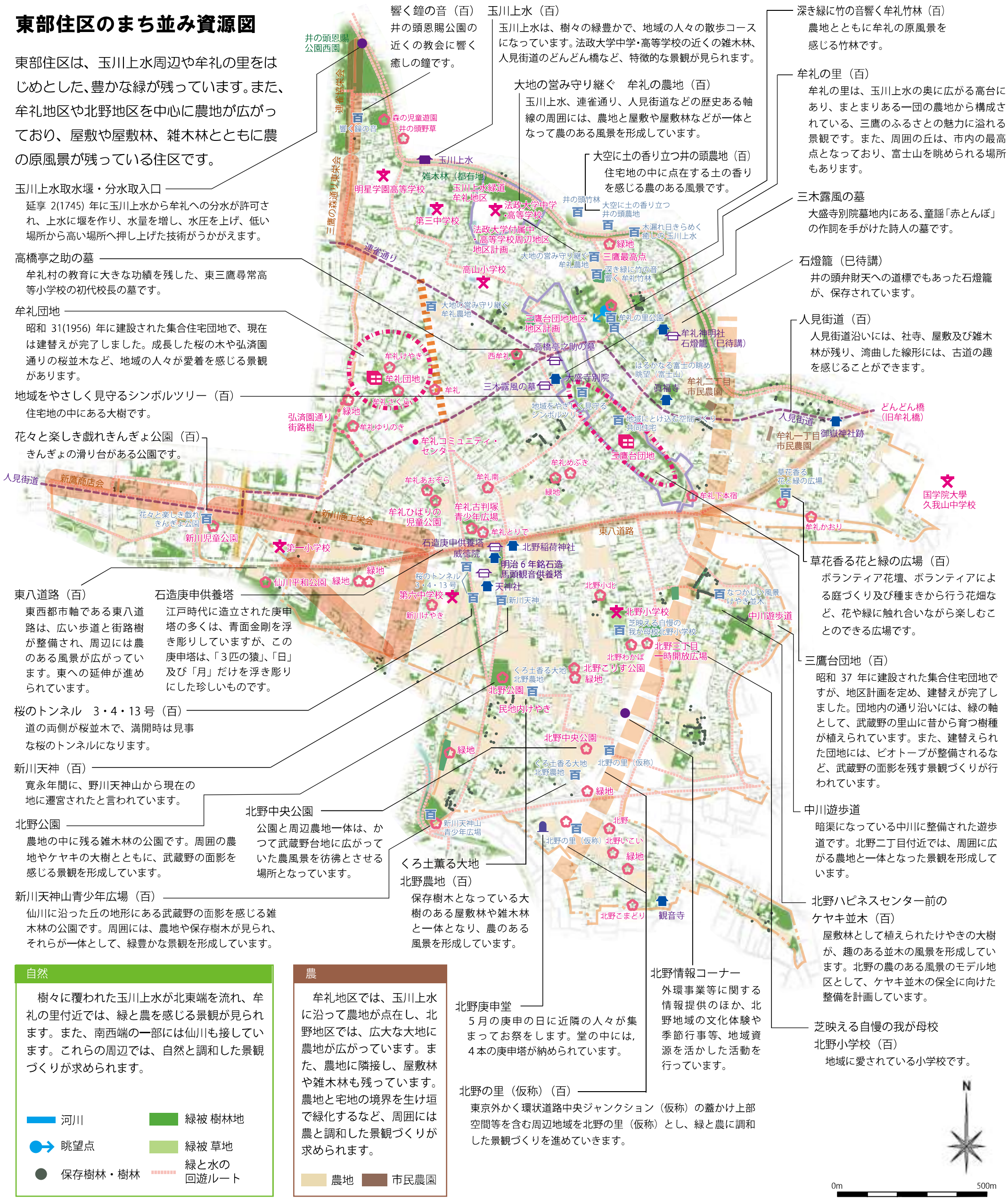
その他

- 百　風景百選（百）
- コミュニティ住区の境界

※重点地区の範囲については、p88「図. 景観計画区域の区分」を参照ください。

東部住区のまち並み資源図

東部住区は、玉川上水周辺や牟礼の里をはじめとした、豊かな緑が残っています。また、牟礼地区や北野地区を中心に農地が広がっており、屋敷や屋敷林、雑木林とともに農の原風景が残っている住区です。



響く鐘の音（百）
井の頭恩賜公園の近くの教会に響く癒しの鐘です。

玉川上水（百）
玉川上水は、樹々の緑豊かで、地域の人々の散歩コースになっています。法政大学中学・高等学校の近くの雑木林、人見街道のどんどん橋など、特徴的な景観が見られます。

大地の営み守り継ぐ　牟礼の農地（百）
玉川上水、連雀通り、人見街道などの歴史ある軸線の周囲には、農地と屋敷や屋敷林などが一体となって農のある風景を形成しています。

大空に土の香り立つ井の頭農地（百）
住宅地の中に点在する土の香りを感じる農のある風景です。

深き緑に竹の音響く牟礼竹林（百）
農地とともに牟礼の原風景を感じる竹林です。

牟礼の里（百）
牟礼の里は、玉川上水の奥に広がる高台にあり、まとまりある一団の農地から構成されている、三鷹のふるさとの魅力に溢れる景観です。また、周囲の丘は、市内の最高点となっており、富士山を眺められる場所もあります。

三木露風の墓
大盛寺別院墓地内にある、童謡「赤とんぼ」の作詞を手がけた詩人の墓です。

石燈籠（巳待講）
井の頭弁財天への道標でもあった石燈籠が、保存されています。

人見街道（百）
人見街道沿いには、社寺、屋敷及び雑木林が残り、湾曲した線形には、古道の趣を感じることができます。

玉川上水取水堰・分水取入口
延享 2(1745) 年に玉川上水から牟礼への分水が許可され、上水に堰を作り、水量を増し、水圧を上げ、低い場所から高い場所へ押し上げた技術がうかがえます。

高橋亭之助の墓
牟礼村の教育に大きな功績を残した、東三鷹尋常高等小学校の初代校長の墓です。

牟礼団地
昭和 31(1956) 年に建設された集合住宅団地で、現在は建替えが完了しました。成長した桜の木や弘済園通りの桜並木など、地域の人々が愛着を感じる景観があります。

地域をやさしく見守るシンボルツリー（百）
住宅地の中にある大樹です。

花々と楽しき戯れきんぎょ公園（百）
きんぎょの滑り台がある公園です。

東八道路（百）
東西都市軸である東八道路は、広い歩道と街路樹が整備され、周辺には農のある風景が広がっています。東への延伸が進められています。

石造庚申供養塔
江戸時代に造立された庚申塔の多くは、青面金剛を浮き彫りしていますが、この庚申塔は、「３匹の猿」、「日」及び「月」だけを浮き彫りにした珍しいものです。

桜のトンネル　3・4・13 号（百）
道の両側が桜並木で、満開時は見事な桜のトンネルになります。

新川天神（百）
寛永年間に、野川天神山から現在の地に遷宮されたと言われています。

北野公園
農地の中に残る雑木林の公園です。周囲の農地やケヤキの大樹とともに、武蔵野の面影を感じる景観を形成しています。

北野中央公園
公園と周辺農地一体は、かつて武蔵野台地に広がっていた農風景を彷彿とさせる場所となっています。

新川天神山青少年広場（百）
仙川に沿った丘の地形にある武蔵野の面影を感じる雑木林の公園です。周囲には、農地や保存樹木が見られ、それらが一体として、緑豊かな景観を形成しています。

くろ土薫る大地
北野農地（百）
保存樹木となっている大樹のある屋敷林や雑木林と一体となり、農のある風景を形成しています。

北野庚申堂
５月の庚申の日に近隣の人々が集まってお祭をします。堂の中には，４本の庚申塔が納められています。

北野情報コーナー
外環事業等に関する情報提供のほか、北野地域の文化体験や季節行事等、地域資源を活かした活動を行っています。

北野の里（仮称）（百）
東京外かく環状道路中央ジャンクション（仮称）の蓋かけ上部空間等を含む周辺地域を北野の里（仮称）とし、緑と農に調和した景観づくりを進めていきます。

芝映える自慢の我が母校
北野小学校（百）
地域に愛されている小学校です。

草花香る花と緑の広場（百）
ボランティア花壇、ボランティアによる庭づくり及び種まきから行う花畑など、花や緑に触れ合いながら楽しむことのできる広場です。

三鷹台団地（百）
昭和 37 年に建設された集合住宅団地ですが、地区計画を定め、建替えが完了しました。団地内の通り沿いには、緑の軸として、武蔵野の里山に昔から育つ樹種が植えられています。また、建替えられた団地には、ビオトープが整備されるなど、武蔵野の面影を残す景観づくりが行われています。

中川遊歩道
暗渠になっている中川に整備された遊歩道です。北野二丁目付近では、周囲に広がる農地と一体となった景観を形成しています。

北野ハピネスセンター前のケヤキ並木（百）
屋敷林として植えられたけやきの大樹が、趣のある並木の風景を形成しています。北野の農のある風景のモデル地区として、ケヤキ並木の保全に向けた整備を計画しています。

N

0m　500m

自然

樹々に覆われた玉川上水が北東端を流れ、牟礼の里付近では、緑と農を感じる景観が見られます。また、南西端の一部には仙川も接しています。これらの周辺では、自然と調和した景観づくりが求められます。

- 河川
- 眺望点
- 保存樹林・樹林
- 緑被 樹林地
- 緑被 草地
- 緑と水の回遊ルート

農

牟礼地区では、玉川上水に沿って農地が点在し、北野地区では、広大な大地に農地が広がっています。また、農地に隣接し、屋敷林や雑木林も残っています。農地と宅地の境界を生け垣で緑化するなど、周囲には農と調和した景観づくりが求められます。

- 農地
- 市民農園

歴史・文化

連雀通りと人見街道が通り、沿道には社寺、屋敷及び雑木林など、街道らしさを感じる景観が残っています。国の史跡に指定されている玉川上水には、どんどん橋などの歴史・文化を感じる橋も架かっています。これらを保全・活用した景観づくりが求められます。

文化財
- 国指定文化財
- 市指定文化財
- その他の文化資源
- 石造物
- 寺社
- 街道

にぎわい

東西都市軸である東八道路は今後、東への延伸が予定されています。街路樹が整備され、緑豊かな街路景観が続きます。沿道の建築物には、骨格にふさわしいまち並みの形成が求められます。

- 商店街
- 事業中の都市計画道路
- 東京外かく環状道路

都市軸
- 中央都市軸
- 東西都市軸
- サブ都市軸

コミュニティ

建替えの完了した牟礼団地や三鷹台団地では、桜並木などの景観の継承を図っていきます。一般住宅地では、点在する農や歴史・文化の資源との調和を図り、緑豊かなまち並みづくりを行います。

- 集合住宅団地
- 公園・緑地・広場
- 小・中学校・高等学校
- 緑道など特徴的な道
- 地区計画

その他

- 風景百選（百）
- コミュニティ住区の境界

※重点地区の範囲については、p88「図. 景観計画区域の区分」を参照ください。